

「次期京都市基本計画策定方針（案）骨子案」と「未来の京都創造研究会」の進め方について（案）

次期京都市基本計画策定方針（案）骨子案

基本計画の在り方

① 戦略的かつ簡潔・明瞭な計画

- ・ 京都のポテンシャルを活かして優先順位づけされた計画
- ・ 外からの視点を重視して政策の成果を評価する「管理可能な計画」
- ・ 財政見通しや都市計画マスタープラン、区基本計画等と連携しつつ、個別・具体的な取組については、下位の計画に委ねる「分権型計画」
- ・ 定量的指標と定性的指標のバランスよく設定され、地域住民の統合機能やシンボル機能を果たす「分かりやすい計画」

② 市民との協働・共汗により策定・推進する計画

- ・ 市民が計画の策定及び推進に参画する「協働型計画」
- ・ 目的に応じた適切な参加対象を設定し、新たな地域的価値の実現をめざす地域計画
- ・ 計画策定の参加主体が成長できる計画過程

③ 柔軟に進化（深化）する計画

- ・ 計画点検結果等を活かして計画自体がつくりなおされていく計画
- ・ 総合的な目標達成に向けて柔軟に指標を設定する計画

※論点：基本計画の体系（市民のわかりやすさ：行政職員の使いやすさ）

- 市民の目線による横断的なものとしつつ、分野別計画との関係整理（策定方法や相互の反映方法等のルール化・見える化）によって、行政部門へ翻訳することを検討してはどうか。

京都市をとりまく現状 ※「京都市の政策方向に関する基礎資料」を作成

京都の未来像の方向付け

- ① 京都の未来像の全体的な方向付け
- ② 京都の未来像の分野別の方向付け、課題

解決策（戦略、重点施策）

- ① 京都の未来像に向けた目標（指標）
- ② 目標を達成するための課題解決方策
- ③ 課題を解決するための重点施策

会議資料（当初）

自治体計画行政の現状と課題

① 優先順位づけされた政策のための計画、政策の成果を評価し確保する管理のための計画

- ⇒ 「戦略計画」，「管理可能な計画」，「分権型計画」への転換

② 行政計画から地域づくりの計画へと転換

- ⇒ 地域住民の統合機能やそのシンボル機能を果たす、新たな地域的価値の実現をめざすものになりつつある（「協働型計画」）

③ 出来上がった計画書ではなく作りつづける計画

- ⇒ 計画過程を重視し、市民参加、管理サイクル、そして評価を組み込んでいく

会議等における議論の内容

《第1回研究会での主な意見》 ※下線は未来像メモ提出時の追加意見

■計画の位置付け、内容について

- 文化的価値を創出する京都のブランド力の有効活用
- 外からの視点の重視（企業など外部の外向きのパートナーシップ）
- パートナーシップと財政の問題は密接
- 政策と予算との連携が重要（選択の基準に費用効率性）
- 基本計画、都市計画マスタープラン、財政見通しの長期計画の関連性（見やすく図示）
- 都市空間の利用の観点が重要（職員は多様な分野を理解）
- 区基本計画の実効性の向上も重要
- 目標設定について、定性的な目標の設定方法が課題かつ重要。また、定性的な部分と定量的な部分のバランスが重要
- ポジティブな良いところを伸ばす評価視点が重要。
- 指標について、総合的な達成を評価していく柔軟な考え方が必要
- 可能な範囲で数値目標を設定し、適切な指標を選択（取組と無関係に増加する指標は不適切）
- 基本計画の「使いやすさ」重視；基本計画の編集を部局別にした方が市職員には使いやすい。

■市民参加、参画について

- 市民と行政が学習しながら協働で計画をつくり実施し、相互理解を深めるプロセスが重要。また、変えられるという実感が必要
- 市民と行政が対話し新しい視点が出てくるようなプロセスが重要
- 自らの成長が京都の成長につながるというエンゲージメントのある策定プロセスの構築
- チャレンジ、スキルアップする場としての京都の再評価
- 目的に応じた適切な参加対象の設定
- 行政事務案ありきではない議論の仕方も、参加の試み
- 基本計画の周知、PR・広報活動（市民はどれほど知っているのだろうか？）
- 市内・市外のパートナーシップの現況と見通しを部局ごとに再整理

■計画の推進、評価、見直しについて

- 戦略的な視点で費用対効果を勘案し、重点分野を移す柔軟な計画
- PDCAのサイクルをきちんと盛り込むことが重要（住民参加のツールとしての役割と必要な施策を盛り込み不必要な施策をはずす仕組み）
- 計画実行プロセスで計画自体がつくりなおされていくような計画
- 計画への記載の有無と実施の関係（計画への記載の程度）
- 計画の点検作業の結果をどう生かしていくのか、その方法が重要

第1回

第2回

第3回

京都市の未来像、課題

骨子案、部会の運営方法

資料4（京都市の未来像）

資料5（部会の運営等）

部会における検討

- ① 京都の未来像に向けた目標（指標）
- ② 目標を達成するための課題解決方策
- ③ 課題を解決するための重点施策

各部会における議論
との全体調整

第4回における検討

- ・ 部会における議論の中間報告

第5回における検討

- ・ 骨子案に部会の議論を反映
⇒方針（案）の確定